

## 竜南環境守り隊～ふるさとのためにできること～

5月～12月(20時間)

### 1 ねらい

本校では、毎年1年生の総合的な学習の時間で、環境について学んでいる。環境学習で学ぶべき内容には、地球温暖化や森林伐採といった地球レベルでの問題だけでなく、外来種の生物の増加による在来種の減少といった国レベルでの問題も包括される。ただし、地球規模での環境問題について知ることは大切なことであるが、より大切なことは、生徒たちが問題を自分のこととして捉え、問題を少しでも改善しようという意欲をもち、自ら行動できることである。つまり、自分たちが住む地域のことを学び、地域のために少しでも行動しようという意欲をもつことがゴールであると考えた。そこで、今年度は、総合的な学習の時間のテーマを「竜南環境守り隊～ふるさとのためにできること～」と設定した。

また、本校は3年生の総合的な学習の時間のテーマを「竜南いのち守り隊」として、毎年防災学習に取り組んでいる。被災時、中学生がどれだけ地域のために活動できるかということは、地域にとって死活問題になりうる。東日本大震災のときにも、中学生が地域に与えた影響は大きい。1年生次から地域のことを知り、地域とのつながりを深め、地域のことを大切にできる生徒を育てたいと考え、本テーマを設定した。

竜南環境守り隊としての活動は、大きく分けて以下の3つのフェーズで構成されている。

- ①環境問題について知ろう(環境クイズの実施、映像資料の視聴、話し合い)
- ②環境問題と絶滅危惧種の関係について調べよう(個人追究と発表)
- ③環境を守るためにできることを考えよう(家庭でのエコ活動調べ、クラスのエコ三か条の決定、学年での発表)

これらの活動を踏まえ、地域を守るために少しでも行動を起こせる生徒の育成を目標に本単元を設定した。

### 2 実践の概要

#### (1) 環境問題について知ろう

環境学習の導入として、学年全員で一斉に環境クイズを行った。未来の地球の気温はどのくらい上昇するのか、またその原因は何なのか(地球温暖化)、私たちの日常生活で、どのくらい水が汚れるのか(水質汚染)、絶滅危惧種は世界にどれだけ存在しているのか、またその原因は何なのか(絶滅危惧種)といったことについて、クイズ形式で知識を深めた。また、地球温暖化や水質汚染、森林伐採についての映像資料を視聴し、生徒たちの意識を高めた。高まった意識の中で、外来種によって在来種が絶滅危惧種に追いやられていることを知った。

そこで、名古屋市のみどりガメ駆除の映像を視聴した。これは、名古屋市の池にみどりガメが大量に発生し、在来種であるニホンイシガメやクサガメを脅かしているため、市が

ミドリガメ駆除に取り組んだというドキュメンタリーである。

その後、「在来種を守るために外来種を駆除することについて考えよう」というテーマで話し合いを行った。子供たちは様々な観点から意見を出し合っていたが、どれも根拠に乏しく、感情論に終始してしまった。そこで、テーマを決め、絶滅危惧種が増えた原因と関連させて調べ学習を行うことにした。



資料① 話し合い

## (2) 環境問題と絶滅危惧種の関係について調べよう

地球温暖化、水質汚染、大気汚染、乱獲、森林伐採、外来種という6つのカテゴリに分かれ、そのカテゴリに関連する、自分が調べたいテーマについて、タブレット端末やパソコン室を使った調べ学習を行った。



調べた内容をクラスメイトに発表し、それぞれが調べた内容について共有した。発表後、板書を見ながら、「どんなことが言えそう？」と発問すると、「どれも人間が関わっている」と答えが返ってきた。

資料② 調べ学習

そこで、「人間の生活と絶滅危惧種との関わりについて考えよう」というテーマで、もう一度話し合いを行った。この時間には、岡崎市の環境保全課の職員の方にも同席してもらった。「人間が絶滅危惧種を守るべきかどうか」という発問に対して、最初は守るべきという生徒が7割、守らなくてよいという生徒が3割であった。調べた内容から、以前よりは根拠がある意見が増えたが、それでも学級全体での意見はまとまらないままであった。



生徒たちの話し合いが終わると、環境保全課の職員の方から、なぜ絶滅危惧種を守らなければならないのかについて、生物多様性の観点と、人間の生活がどう変化するかという観点で話してもらった。授業後の感想を読むと、「なぜ絶滅危惧種を守らなければならないかわかりました」ということや、「少しでも絶滅危惧種を守りたいと思いました」と書かれていた。

資料③ 市職員の方の講義

## (3) 環境を守るためにできることを考えよう

話し合い後、絶滅危惧種を守るためにどんなことができるかを考えた。まずは家庭で行っているエコ活動を調べ、クラスで共有した。それを基に、クラスのエコ三か条を決めた。決めたエコ三か条は、劇形式で発表することにした。

### 3 実践を振り返って

子供の意識を踏まえて授業を構成することが大切だと改めて感じた。地球規模のぼんやりとした話ではなく、子供にとって身近で実感できる教材を扱っていくことで、子供は意欲的に学習に取り組むと考えた。また、どんなに小さなことでも、環境を少しでもよくするために取り組もうという気持ちが大切だと思った。来年、再来年の総合的な学習の時間との関連を意識して、これからの実践に取り組む決意である。